

平成27年度

# 事業報告書

自：平成27年 4月 1日  
至：平成28年 3月31日

# 平成27年度 事業報告

## 1. 事業活動概要

昨年末の診療報酬改定情報は、全体として平均1.03%のマイナス改定となることがマスコミ報道され、年明け以降は、個々の診察や手術などの報酬に関する議論がなされ本年3月4日に告示された。

厚労省が思い描くのは、体調を崩した人がまず地域の「かかりつけ医」に行く仕組みを求めている。

「かかりつけ医」が幅広い症状を診察して、高度な治療が必要だと判断した際に病院に紹介状を書く。

厚生労働省は2017年度から幅広い病気を診ることができる総合診療専門医の養成を始める。ただ専門医を認定するのは2020年度からである。

日本医師会も今年4月から「かかりつけ医」の育成研修を始めるが、「かかりつけ医」の報酬を2016年4月から微増するものの、患者と医療機関の双方がメリットを感じるには時間がかかりそうな状況でもある。

このような医療環境の下で、相模原地域地域医療構想調整会議が昨年8月からスタートし、本年3月30日現在計4回の審議が継続されている。

神奈川県担当部署のリードにより医療機能4区分（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）ごとに算出される2025年度のあるべき医療供給体制の必要病床区分論議が中心となって進められているが、本年秋頃に予定されている審議の結果が注目される場所である。

一方で、当協会業務の一年を振り返ると、先ず、第一に、新春恒例の賀詞交歓会を本年1月25日に開催し、2月には相模原市医療懇話会への参加及び医師会役員との懇談会の開催を通して、地域医療構想問題、診療報酬改定対応に加え控除対象外消費税問題に関する相模原市や医師会等ともコンセンサスを得ながら取組みを進めてきた。

第二に、当協会の主管事業の一つであり、当協会予算の約90%を構成している二次救急医療の運用については、内科夜応需複数開設日を担当病院の協力も得られ、昨年度の30日から36日に増加して運営することができ、従来のGWやお盆、年末年始の期間に加えて、日曜日や祝祭日の夜のいわゆる、繁忙日に市内東西南北の複数医療機関で実施したことで一定の効果を上げることができた。

このことは、医師そして看護師等の医療従事者から加重労働を少しでも軽減することとなり、ひいては医療安全文化の構築へと繋げていくこととなる。

加えて、今年度7月から消化器二次救急における搬送支障症例削減を目的として消化器コーディネーター制度導入が開始され、運用当初は、当番病院とコーディネーターが一致しない実施日と実施病院がまばらに存在したが、下期からは消化器実施全病院の協力を得て、当番日に全担当病院からコーディネーターの役割を担ってもらうことができた。

その結果、消化器系疾患に関する搬送支障症例は7月以降殆ど二次救急医療運営委員会において報告されていないという期待通りの役割を関連病院の絶大なる協力により実現すること

ができた。

第三には、三年目を迎えた潜在看護職を対象とした看護職確保対策事業は、相談会（2回）と技術研修会を開催して、慢性的に不足している看護職（准看護師も含む）の発掘と復職に備えた取り組みを継続した結果、3事業参加者は今年度通算55名で、現時点で医療機関への復職者は15名となり、参加者の復職率は27.3%で、第2回目相談会だけでみると17名の参加者に対し8名が市内病院復職で復職率47%を達成することができた。

新年度に向かい、診療報酬改定見直しの中で救急医療加算や夜間休日救急搬送医学管理料の充実にも伴い、二次救急医療の運用のための当番表作成の決定方法を盤石なものとするべく担当病院の実情に応じた納得性や公平性のある取り組みも求められる。

また、搬送支障症例改善も視野に入れ、本年度10月期から実施された医療事故調査制度への発生必要時での対応や地域医療構想への取り組みなど、地域住民に対して安全、安心で迅速な医療提供を前提とした相模原市の二次救急医療の更なる充実と発展に加え、我が国の高齢者ピークを迎える2025年までの限られた期間に更なる飛躍が求められる中、平成27年度の主要な事業実績について次のとおり報告する。

## 2. 主な事業実績

### (1) 総務関係事業

- ① 定時総会は、5月25日に開催し、平成27年度事業報告に伴う決算等の報告及び新役員が選任された。
- ② 総会終了後には、加盟37病院職員の方々122名の参加を得て合同懇親会も開催出来た。
- ③ 理事会は次のとおり定期開催し、うち2回は拡大理事会（役員病院の事務長、看護部長等参加）として開催した
- ④ 昨年度中途から、各理事や監事による委員会活動が定期的に報告された

#### 平成27年度理事会 開催実績

開催日	曜	回数	主題	理事		監事		名誉 会長	参与	議長	部長 等	事務局
				出席	定数	出席	定数					
平成27年4月28日	火	第132回	理事及び監事の選任、平成26年度事業・決算・監査報告等	8	14	2	2	1	1	1	—	4
平成27年5月25日	月	第133回	会長・副会長の選定、名誉会長・参与の委嘱、議長の選任等	14	15	3	3	—	1	—	—	4
平成27年6月24日	水	第134回	平成28年度市への事業予算要望及び納涼会について等	13	15	2	3	1	1	1	—	4
平成27年7月22日	水	第135回	理事の辞任に伴う後任理事の選任、地域医療構想調整会議委員の推薦等	9	15	2	3	—	1	1	—	4
平成27年9月30日	水	第136回	市内特養と協力病院、ボート大会開催要項、賀詞交歓会等	8	15	3	3	—	1	1	—	4
平成27年10月28日	水	第137回	賀詞交歓会招待者、診療報酬改定セミナー、地域医療構想調整会議等	13	15	3	3	1	1	1	—	4
平成27年11月25日	水	第138回	JAXA相模原キャンパスにおける事業継続要望、ナイスガイドさがみはら広告等	12	15	2	3	—	1	1	10	3
平成27年12月22日	火	第139回	平成27年度医師会・病院協会の役員による懇談会について等	11	15	2	3	1	1	1	—	4
平成28年2月12日	金	第140回 (臨時)	地域医療構想について(アンケート結果と今後の対応、地域医療構想の策定に	10	15	2	3	—	—	—	—	3
平成28年2月24日	水	第141回	平成28年度 定時総会、優良職員表彰、懇親会、理事会日程について等	12	15	3	3	—	1	1	—	4
平成28年3月23日	水	第142回	平成28年度事業計画・収支予算について、平成28年度理事会日程等	11	15	3	3	—	1	—	13	4

- ⑤ 各部会・委員会については、B会員登録者 117 名も含め自主的活動など協会の各事業を推進する役割を担っていただき協会目的の達成に邁進している。
- ⑥ ボーリング大会、懇親会等を通じた交流事業については、例年通り盛況な中で開催することができた。
- ⑦ 市及び関係団体等との連携・調整に関しては、市医療担当幹部職員との次年度予算折衝を 7 月 1 日から開始し本年 1 月 26 日に新年度は年末年始期間における内科昼複数輪番制実施の結論を得た。本年 2 月 23 日には市医師会役員との「役員等懇談会」を開催した。

## (2) 救急医療対策事業

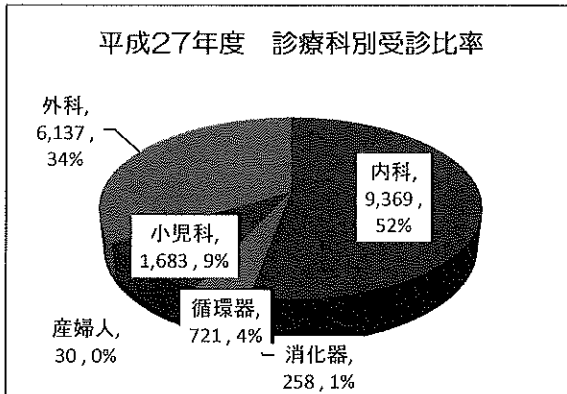
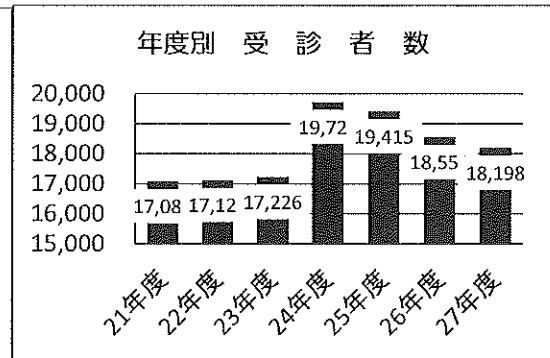
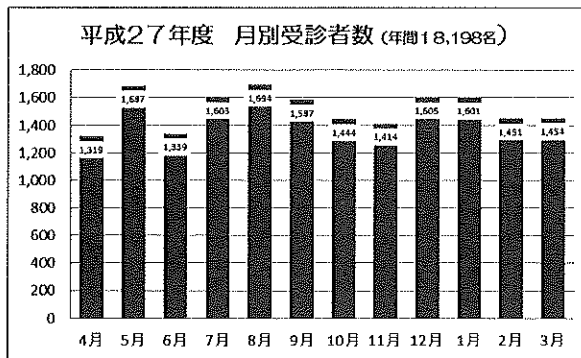
- ① 市から受託している二次救急医療事業（内科系、消化器系、循環器系、小児科、産婦人科）並びに自主事業である外科二次救急事業の円滑な運営や応需体制の決定に加えて病院相互協力の強化を目的として今年度中に次のとおり開催した。

NO	開催日	曜	回数	主題	参加
1	平成27年4月30日	木	第42回	平成27年度上期二次応需当番表報告・委員長選任 下期アンケート調査・消化器コーディネーター制度について等	28名
2	平成27年7月9日	木	第43回	平成27年度下期二次応需当番アンケートと当番表作成 消化器コーディネーター導入・年末年始アンケート等	27名
3	平成27年8月25日	火	第44回	平成27年度下期二次応需当番表作成 年末年始アンケート・消化器コーディネーター運用状況	23名
4	平成27年10月13日	火	第45回	平成27年度下期二次応需当番表 平成28年度当番表アンケート 脳神経系小委員会等	33名
5	平成28年1月19日	火	第46回	平成28年度上期当番表 二次救急時間帯における予期せぬ事案対応	32名
6	平成28年2月16日	火	第47回	平成28年度上期二次応需当番表作成	32名
7	平成28年3月8日	火	第48回	平成28年度上期二次応需当番表作成	29名

この二次救急医療運営委員会においては、長年、委員長としてご尽力いただいた中野重徳副会長から高野靖悟理事に委員長の交代が行われ、新たに、産婦人科、循環器科、小児科そして消化器系委員の充実も行い、更なる二次救急医療の発展に向けて新たな補完と進展がなされた。

- ② 今年度並びに年度単位の二次救急医療機関の受診者数は次のとおりであり、年度毎の受診者数が平成 24 年度をピークとして遞減している。一方、総務省消防庁速報では全国の救急出動件数は前年比 1.1%増とマスコミ発表している。

このことは、相模原市内の二次病院をはじめとする各医療機関の救急医療機能の充実と医療の質向上と努力の結果が表れたものと推測する。



③ 年度別の二次救急医療に関する事業経費は次のとおりである。

年度別二次救急医療 総事業費一覧表

年度	年間受診者数	一日平均受診者	年間総事業費(円)	一人平均(円)	%
27年度	18,198	49.7	899,423,946	49,424	130.91
26年度	18,558	50.8	908,385,250	48,948	132.21
25年度	19,415	53.2	876,409,192	45,141	127.56
24年度	19,724	54.0	867,928,222	44,004	126.33
23年度	17,226	47.2	799,564,607	46,416	116.38
22年度	17,124	46.9	757,112,977	44,214	110.20
21年度	17,084	46.8	687,057,958	40,216	100.00

※ 「%」は、平成21年度からの年間総事業費の伸び率  
 ※ 平成26年度事業費に看護職補助も含む

④ 内科複数輪番制夜間の開設に関しては、昨年度の30日から36日間への予算的措置と当番病院の協力を得て、一地域の医療機関に受診者が集中することなく東西北地域に担当医療機関が分散することにより迅速な搬送や受診時間の短縮に繋がり、救急医療の質的向上と医療スタッフの軽減負担に貢献できる結果となった。

今後も更に、一次、二次、三次の医療を担当する機関が効果的な連携をスムーズに行えるよう相模原市、市消防局、市医師会そして大学病院との更なる調整を行うことが求められる。

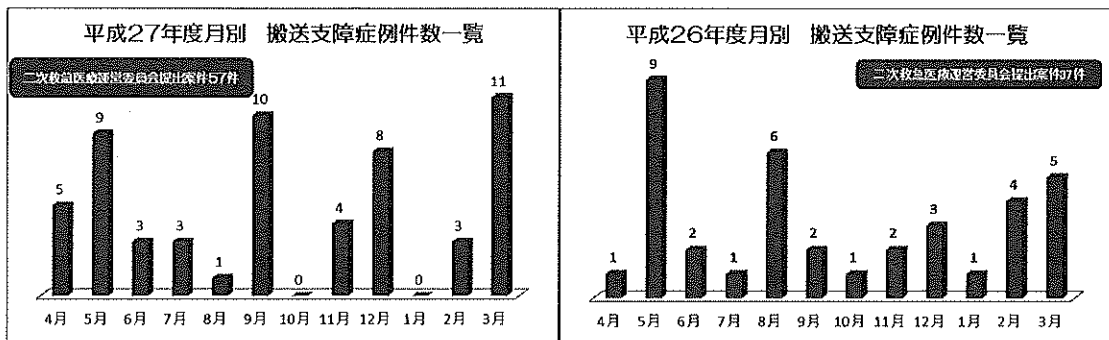
⑤ 三次医療機関との「相模原ルール」の運用に関して、二次救急運営委員会において発生事

例を個別に報告し、改善に結び付けるべく周知を行い、搬送時の中断に伴うルール宣言を減らす努力を継続した。

今年度の「相模原ルール宣言」回数は、22件であり昨年度の36件より回数的改善が認められ、且つ、二次担当病院のフィードバック率も昨年度の50%から64%に向上した。フィードバックに関しては市内二次救急担当病院間での転移搬送も自主的に行われ、徐々に受診者を中心とした医療サービスの提供も行われた。

- ⑥ 二次救急医療時間帯における搬送支障症例に関して二次救急医療運営委員会で報告した総件数は、50件を超過し、このうち、消化器コーディネーター導入の影響下で消化器系疾患に関する支障症例は、7月以降激減したが昨年度の委員会での搬送支障症例報告件数37から増大した。この背景要因としては、受診者の容態や診療科を巡ることを主訴とする案件から、二次救急標榜診療科以外（6診療科）の脳神経的要因や精神的要因そして医師多忙による診療中断や二次担当病院の連携等の原因も増えてきている。

このことは、ヒヤリ・ハット報告に例えればアクシデント的要素からインシデント的要素が増えたことも要因の一つとも考えられる。今後、慎重に情報を集約し原因追及や改善計画に結実させる必要を感じている。月別の委員会提出支障症例案件は次のとおりである。



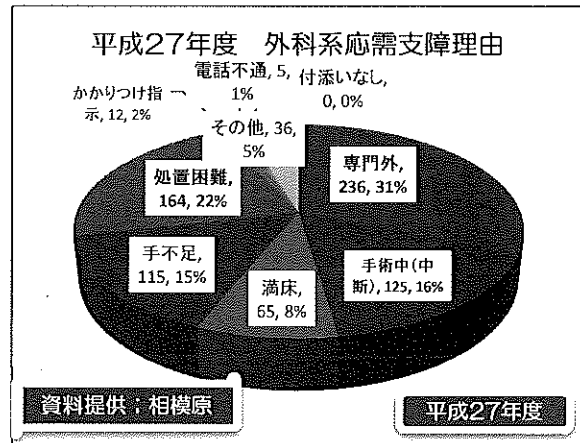
⑦ 消防局救急課からの報告事案について

二次救急医療運営委員会では、昨年度中途から救急課経由で毎月「中断状況」と「外科応需支障調査票」と言う二つの資料提供を受け、二次担当病院や各委員に搬送支障症例を報告し情報共有を継続している。今年度の状況を次表にして報告する。

平成27年度 中断・外科収容関係資料

月	曜日	中断関係			外科収容支障関係			
		日数	回数	率/月	日数	回数	率/月	
4月	30	14	25	46.7	23	44	76.7	
5月	31	13	25	41.9	24	61	77.4	
6月	30	9	20	30.0	16	45	53.3	
7月	31	16	24	51.6	22	81	71.0	
8月	31	12	15	38.7	22	46	71.0	
9月	30	15	27	50.0	23	73	76.7	
10月	31	12	21	39.7	24	71	77.4	
11月	30	14	20	46.7	25	76	83.3	
12月	31	14	26	45.2	24	79	77.4	
1月	31	16	28	51.6	26	76	83.9	
2月	29	22	38	75.9	23	49	79.3	
3月	31	13	19	41.9	22	55	71.0	
合計		366	170	288	46.4	274	756	74.9

資料提供：消防局救急課



⑧ 相模原市の主催する医療対策協議会の「消化器系小委員会」では消化器コーディネーター

制度に関して導入を果たし、「脳神経系小委員会」については、相模原脳卒中スケールの検討やt-PA 傷病者救急搬送の予後調査実施検討に向けての協力を継続している。

⑨ 二次救急医療における平成 26 年度分損失医療費助成金について

平成 26 年度上期における二次医療機関からの申請は、12 病院から 75 名分・約 123 万円の申請があり審査の結果、68 名分約 100 万円の損失医療費の補填支給を行った。

平成 26 年度下期における申請は、11 病院から 70 名分・約 121 万円の申請があり、審査の結果、69 名・約 110 万円の損失医療費の補填支給を行った

審査の結果、適用除外や金額修正を行った主なケースは、通常診療時間帯受診の場合や生活保護制度適用者を未確認のまま申請した等であり金額変更の多くのケースも国民健康保険適用者を当該市区町村と未確認のまま申請したケースが挙げられる。

(3) 災害対策事業

- ① 8 月 30 日に開催された「平成 27 年度相模原市総合防災訓練」に関連医療機関と共に参加したほか、国際テロ組織への対応や化学暴露を想定した「平成 27 年度国民保護実働訓練」に関して、11 月 17 日に開催された「医療関係者向け講演会」に協力すると共に平成 28 年 1 月 26 日の実働訓練に参加し情報共有と役割分担を確認した。

(4) 地域医療対策事業

- ① 市から受託している「認知症患者に関する医療機関連携システム事業」に関しては、北里大学東病院並びに市高齢者支援課との連携の下に認知症地域連携パスである「支え手帳」の活用も含めて関連病院との入退院事業を次のとおり行った。

対象月	利用者	日数	委託費	内容
平成27年8月	1	5	16,200	急性期受入
年間合計	1	5	16,200	

(5) 学術研究事業

- ① 医療講演会・研修会の開催及び医療に関する情報収集を行った。特に相模原市との「医療懇話会」は 2 月 16 日に開催され、在宅医療の現状と展望並びに地域医療連携について市長はじめ市側医療行政幹部や医師会長、北里大学病院長等との意見交換が行われた。
- ② 引続き 2 月 23 日には市医師会役員との通算 12 回目となる「役員等懇談会」を開催し当面、対応が求められている次のテーマについて、熱心な意見交換と交流を深め懇親の場としても活用することができた。
- ・ 地域医療構想について
  - ・ 消費税に関わる対応について P3⑤市及び関係団体との連携・調整（どちらに記載）
- ③ 事務長部会並びに看護部長会を中心に病院運営に関する必要な各種調査等を実施した。今年度の大きな事業としては、本年 2 月 22 日に開催した次年度診療報酬改定に対して「運用のポイント」とサブタイトルし外部講師を招聘し南メディカルセンター大会議室において B 会員も含め約 115 名の参加者を対象に実施した。

(6) 広報活動事業

- ① 協会ホームページの開設に伴い、神奈川県や相模原市に加えて神奈川県病院協会からの通知文書や当病院協会の理事会議事録や研修会等の情報伝達を継続して行っている。  
平成27年度のアクセス総件数は20,060件で一日平均54.81件であった。
- ② 相模経済新聞(平成27年8月1日付)の「ものづくり・ひと・企業」『市民の健康と福祉増進に貢献』の見出し記事の中で黒河内会長が「病気でなく病人を診る」医師としてのモットーと病院協会長としての活動が紹介された
- ③ 神奈川新聞(平成28年2月7日付)で相模原市病院協会が主催する潜在看護師の復職支援事業の紹介と丘整形外科病院での復職看護師の育成方法などが社会面に掲載された。

(7) 福利厚生・褒賞事業

- ① 優良職員表彰は、5月25日の定時総会終了後に20会員病院52名の職員の方々を対象に表彰を行い、その後の懇親会は、市医師会長、副会長を来賓とする約130名の参加により盛大に挙行了した。
- ② ボーリング大会は11月18日に11病院から35チーム100名以上の参加を得て、厚生福利褒賞担当の丘理事と丘整形外科病院職員の皆様のご協力の下、病院職員相互の交流及び健康増進を図ることを目的として開催した。  
男子団体優勝：相模原南病院Aチーム      準優勝：丘整形外科病院Cチーム  
女子団体優勝：北里大学病院Aチーム      準優勝：相模原南病院Aチーム

(8) 収益事業

- ① 各種予防接種における会員病院取扱い分を収益事業として位置付け、本協会の財政基盤の強化事業として実施した件数等については次のとおりである。

支払月	件数			委託料(病院支払分)			事務手数料収入			合計
	個別予防接種	高齢者インフル	計	個別予防接種	高齢者インフル	計	個別予防接種	高齢者インフル	計	
平成27年4月	504	0	504	2,701,608	0	2,701,608	81,648	0	81,648	2,783,256
平成27年5月	671	0	671	3,499,653	0	3,499,653	108,702	0	108,702	3,608,355
平成27年6月	437	0	437	2,360,199	0	2,360,199	79,794	0	79,794	2,439,993
平成27年7月	414	0	414	2,172,366	0	2,172,366	67,068	0	67,068	2,239,434
平成27年8月	546	0	546	2,911,614	0	2,911,614	88,452	0	88,452	3,000,066
平成27年9月	491	0	491	2,608,026	0	2,608,026	79,542	0	79,542	2,687,568
平成27年10月	517	0	517	2,745,975	0	2,745,975	83,754	0	83,754	2,829,729
平成27年11月	447	0	447	2,401,434	0	2,401,434	72,414	0	72,414	2,473,848
平成27年12月	472	4,346	4,820	2,549,100	16,085,515	18,634,615	76,464	704,376	780,840	19,415,455
平成28年1月	373	8,712	9,085	2,029,503	32,447,505	34,477,008	60,426	1,411,344	1,471,770	35,948,778
平成28年2月	402	2,793	3,195	2,148,951	10,163,610	12,312,561	65,124	452,466	517,590	12,830,151
平成28年3月	408	0	408	2,229,735	0	2,229,735	66,096	0	66,096	2,295,831
年間合計	5,682	15,853	21,535	30,358,164	58,696,630	89,054,794	920,484	2,568,186	3,488,670	92,543,464

(9) 医療従事者対策事業

- ① 看護師等の確保対策として、公益財団法人相模原市健康福祉財団が運営する相模原看護専門



学校の運営に対する支援を継続し、側面からの支援として、『企画調整会議』や『看護師奨学金貸与事業WG』への人的参加を行い福祉財団奨学基金規程の作成や奨学金貸与学生の採用に関する協定書作成に関与した。

- ② 准看護師育成機関支援の一環として、実習場確保等に関してのヒアリング等を実施して、准看学院継続の検討を行ってきたが学校の方針で閉校が決定された。
- ③ 平成 25 年度に協会内に「看護職確保対策委員会」を設置し、看護部長会、事務長部会の協力を得て、相模原市からの共催、医師会、看護協会、相模原職業安定所そして市内二か所の看護教育機関に加えて今年度から相模原市介護老人保健施設協議会の後援も得られ、慢性的な不足状態が続いている看護職確保事業を継承し、平成 25 年度に実施したアンケート結果をもとに実施した平成 26 年度に引き続き相談会、技術研修会の事業を行った。本事業の概要は次表のとおりであり、特に、今年度事業では、相模原市からの補助金も確定し、相模原市内の医療機関を中心に今年度は、15 名が採用され、本事業開設以来通算 25 名の復職者を達成できたことは所期の目標を達成しつつあると言える。

## § 委員会開催状況

回数	開催日		委員会	
	年 月 日	曜	委員長	参加者
第1回	平成27年4月17日	火	渡辺 加代子	11
第2回	平成27年5月12日	火	↓	12
第3回	平成27年6月16日	火		11
第4回	平成27年7月14日	火		11
第5回	平成27年9月8日	火		12
第6回	平成27年10月13日	火		12
第7回	平成27年11月10日	火		9
第8回	平成27年12月19日	火		10
第9回	平成28年1月12日	火		11
第10回	平成28年3月8日	金		渡辺 加代子

## § 開催事業内容と復職者

事業内容	実施期間		参加者	復職者	相模原市病院協会協力者			
	開催日	曜			参加委員	NWC(部長会)	臨床指導者	事務職
第1回相談会	平成27年6月28日	日	20	5	3	6	-	3
第1回技術研修会	平成27年10月25日	日	18	2	5	4	7	3
第2回相談会	平成28年2月7日	日	17	8	3	9	-	6

平成28年3月30日現在

### (10) 交流事業

- ① 「納涼会」については、8月24日に市幹部職員の方々を主賓として当協会理事や会員病院の

管理者等 40 名の参加を得て和やかな雰囲気の中で交流と親交が更に深められた。

- ② 恒例となっている賀詞交歓会は、アルゼンチンタンゴをアトラクションとして披露し、1月25日に約170名の関係者の臨席をいただき盛大に開催した。

以上が平成 27 年度の事業報告概要であるが、医療機関経営に求められる「患者さんをはじめとする顧客の視点」から、次年度以降も地域医療構想による病床の機能分化と連携そして地域医療包括ケアシステムの構築と言う従来の病院完結型から地域完結型への変革も求められる。

診療上の契約問題としては、過去から指摘されている「お任せ医療」から脱却した I C (informed consent) の時代を経て S D M (Shared Decision Making) と呼ばれる医師が示した治療選択肢から患者が治療法を決定する患者の強い意思決定権の準委任契約への個別性も要求される。

医療介護総合確保推進法に基づく地域医療構想は今秋頃までには、各都道府県から発表されるものと予測される。

来たるべき 2025 年の医療需要の模索、目指すべき医療提供体制を実現するために相模原市病院協会として会員病院相互の協力と支援を得て更なる飛躍に向けて更に連携し、団結を重ね発展を目指していくこととしたい。

## 平成 27 年度 事務長部会の事業報告

第 1 回 事務長部会（平成 27 年 6 月 23 日・ウェルネスさがみはら 5F 会議室）

【議 題】 参加者 約 35 名

- (1) 平成 27 年度年間スケジュールについて
- (2) グループ検討会の開催について
  - ① 急性期 (DPC)
  - ② 急性期 (非 DPC)
  - ③ 回復期
  - ④ 慢性期 (介護病床あり)
  - ⑤ 慢性期 (介護病床なし)
  - ⑥ 精神科
- (3) 北里大学病院施設見学会の実施について (9 月 5 日 新病院見学会実施)
- (4) 各病院状況報告
- (5) 神奈川県病院協会事務長部会報告

第 2 回 事務長部会（平成 27 年 9 月 9 日・南メディカルセンター大会議室）

※ 討議と講演会を予定したが、台風の為、急遽中止を決定

第 2 回 事務長部会（平成 27 年 12 月 16 日・ウェルネスさがみはら 7F 視聴覚室）

【内 容】 参加者 約 30 名

- (1) 6 グループ検討会の報告
- (2) 講演会
  - ① 『地域包括ケアシステム推進の環境下ジェネリック医薬品を  
どのような視点で活用するか』
  - ② 講師 藤田医療情報研究所主席研究員 松本 新太郎氏

第 3 回 事務長部会（平成 27 年 3 月 9 日・ウェルネスさがみはら 2F 集団検診室）

【議 題】 参加者 約 30 名

- (1) 地域医療構想について
- (2) 診療報酬改定の意見交換
- (3) 平成 28 年度 活動方針 (案) について
- (4) 各施設からの現状報告

# 平成 27 年度相模原市病院協会看護部長会 事業報告

メインテーマ 「看護の質向上をめざして」

～ 変化する時代に対応できる看護管理能力を高める～

## 1. 研修会

日時	事業内容	参加人数
第1回 4月17日(金) 14:30～15:45	研修会 テーマ:「老年看護と向き合って20年」 講師:相愛病院 総看護師長 白井 由貴子	会場: ラポール千寿閣 参加者: 28名
第2回 4月17日(金) 15:45～16:00	平成26年度看護部長会定期総会 ・平成25年度事業報告 会計・監査報告 ・平成26年度事業計画(案) 収支予算(案) ・平成26年度役員選出 ・各事業より連絡 看護協会相模原支部 神奈川県看護協会 相模原市病院協会	会場: ラポール千寿閣 参加者: 26名 委任状: 7名
第3回 7月14日(火) 14:00～16:00	研修会 テーマ:「主体的に行動できるナースの育成 ～社会人基礎力の向上への取組み～」 講師:聖マリアンナ医科大学病院 総括看護部長 高橋 恵 氏	会場: ウェルネス相模原 参加者: 91名
第4回 10月26日(月) 8:30～16:10	研修会 テーマ:新人看護師のためのフィジカルアセスメント研修 講師:堀江千恵子氏 大谷 尚也氏 齋藤 耕平氏 北里大学病院集中ケア認定看護師	会場: 北里大学病院 スキルラボ室 参加者:40名(新人) 13名(指導者)
第5回 12月10日(木) 14:00～16:00	研修会 県看護協会相模原支部共催 テーマ:「在宅訪問医療の実際 ～現状の課題と看護師に期待すること～」 講師:細田 稔 先生 医療法人きらり 細田クリニック 院長	会場: 南メディカルセンター 参加者: 72名

## 2. 看護職復職支援事業 主催:相模原市病院協会 共催:相模原市

日時	事業内容	参加人数
第1回 6月28日(日) 10:30～15:00	第1回「看護職就職相談会」	会場:ウェルネスさがみはら 5F会議室 来場者: 20名
第2回 10月25日(日) 10:30～15:00	「復職支援のための技術研修」	会場:相模原看護専門学校 参加者: 18名
第3回 2月7日(日) 10:30～15:00	第2回「看護職就職相談会」	会場:-ポーノ相模大野サウスモール3F 来場者: 17名

### 3. 役員会

回	日 時	内 容
第1回	4月14日(火)	1. 定期総会準備 2. 7月研修：「社会人基礎力」、12月研修：「在宅往診医療の実例」について計画 3. 相模原市病院協会主催事業“看護職復職支援事業”1回目6月、3回/年予定
第2回	5月12日 (火)	1. 役員紹介及び役割・業務確認 2. 平成27年度研修計画の実施について検討(7月、9月) 3. 看護職復職支援事業、看護職就職相談会について検討(6月28日)
第3回	6月16日(火)	1. 6月「第1回看護職復職支援事業～看護職就職相談会～」準備 2. 7月研修「主体的に行動できるナースの育成～社会人基礎力の向上への取り組み～」準備 3. 9月「新人対象フィジカルアセスメント」研修の準備
第4回	7月14日 (火)	1. 6月事業「第1回看護職復職事業」総括 2. 7月14日、本日の研修「主体的に行動できるナースの育成」の役割分担の確認 3. 10月：復職支援技術研修、新人向けフィジカルアセスメント研修 計画
第5回	9月18日 (火)	1. 10月研修「復職支援技術研修」準備 2. 10月研修「新人向けフィジカルアセスメント研修」準備 3. 12月相模原支部共催研修の準備、仮「細田先生の訪問医療について」 4. 相模原市の認知症対応力向上研修について 5. 7月研修のアンケート結果について
第6回	10月13日(火)	1. 10月研修「復職支援技術研修」具体的準備 2. 10月研修「新人向けフィジカルアセスメント研修」準備 3. 12月支部共催研修について 次年度役員について
第7回	11月10日 (火)	1. 10月復職支援技術研修、新人対象フィジカルアセスメント研修の総括 2. 12月支部共催研修、研修後の情報交換会について準備 3. 平成28年2月復職支援相談会について 4. 平成28年4月定期総会について、次年度役員について
第8回	12月10日 (火)	1. 2月復職支援相談会の準備 2. 平成28年4月定期総会、研修会の準備 3. 次年度の事業計画、次年度の役員について
第9回	1月12日 (火)	1. 2月復職支援事業の準備、4月定期総会と研修会の準備 3. 次年度の事業計画、次年度の役員について
第10回	2月9日(火)	1. 2月7日復職支援事業について 2. 4月定期総会と研修会の準備、3. 次年度の事業計画について
第11回	3月8日(火)	1. 4月15日定期総会の最終準備 2. 4月15日研修会と情報交換会の最終準備 3. 5月の研修会について検討